

三井鉱山の「1万トン体制に即応し、港務所でも受け入れる合理化攻撃がかかるとしている。会社は企業分離後、港務所は中小企業だから一人一人が自覚して会社を助けるようになってきた。」
 文句をいわなで対応する従業員がいわゆるに必死だといっている。みんなが自分のやつを手放さない三井のやつを見抜かねばならない。

輸送していくと斜陽だ、とうとうあなたのよくな勤務態様にも、
 二万トンに対応して

二万トン出炭体制に応するため拘束時間内の労働強化はもがれん公出残業を強要しているが、富浦選炭機では第一組合員のみは補いきれず、三池労組員までを請している。
 船舶のみ六トンクレーンの運転は二人で一時間交替でやっているが、従来は休憩時間一時間機械を止めていたのが、昨年九月から機械は止らず交替で待機時間に休憩がない、残業取扱いをしている。事業上休憩の質上げがされていて、三池労組は拒否していながら、クレーン運転がバネ出してしまった。

また船渠では、船の離着岸等に夕の満引き、作業時間が規制されると、時間外の大まく長い込む場合でも、その待機時間中は雑作業をさせ、それが何時間になっても實金は一時間分で切り捨て、本来作業時間プラス二時間としている。作業態様に合わせて勤務時間を変えていく意図が表われている。

三交替を二交替にしたけれど、一方で、その待機時間中は雑作業をさせ、それが何時間になっても実金は一時間分で切り捨て、本来作業時間プラス二時間としている。作業態様に合わせて勤務時間を変えていく意図が表われている。

「私鉄は斜陽産業である。トラック輸送がふえている今日、その競争に勝たねばならない」と不況宣伝をして、運輸部門を一交替に切り替えて、従来三番方でしていた作業を一番方に一時間残業、一番方に一時間車両を強制し、事実上の拘束時間としている。(三池労組は拒否している)これも私鉄業に都合の良い勤務態様

文句をいわなで対応する従業員がいわゆるに必死だといっている。みんなが自分のやつを手放さない三井のやつを見抜かねばならない。

輸送していくと斜陽だ、とうとうあなたのよくな勤務態様にも、
 二万トンに対応して

二万トン出炭体制に応するため拘束時間内の労働強化はもがれん公出残業を強要しているが、富浦選炭機では第一組合員のみは補いきれず、三池労組員までを請している。
 船舶のみ六トンクレーンの運転は二人で一時間交替でやっているが、従来は休憩時間一時間機械を止めていたのが、昨年九月から機械は止らず交替で待機時間に休憩がない、残業取扱いをしている。事業上休憩の質上げがされていて、三池労組は拒否していながら、クレーン運転がバネ出してしまった。

また船渠では、船の離着岸等に夕の満引き、作業時間が規制されると、時間外の大まく長い込む場合でも、その待機時間中は雑作業をさせ、それが何時間になっても実金は一時間分で切り捨て、本来作業時間プラス二時間としている。作業態様に合わせて勤務時間を変えていく意図が表われている。

「私鉄は斜陽産業である。トラック輸送がふえている今日、その競争に勝たねばならない」と不況宣伝をして、運輸部門を一交替に切り替えて、従来三番方でしていた作業を一番方に一時間残業、一番方に一時間車両を強制し、事実上の拘束時間としている。(三池労組は拒否している)これも私鉄業に都合の良い勤務態様

勤務に合わせた従業員づくり

港務所の合理化

港務所渡辺所長は「港務所は中企業だから『前線精神』『おもてなし精神』『笑顔でサービスを提供する』『一人一人が自覚して企業を立て直す』などしなければならない」ともがんに企業教育を行なっており、抵抗しないでどんな作業にも対応できる従業員づくりを目指し、思想攻撃、切磋琢磨による一人一人が自覚して企業を立て直すようにならなければなりません。

小企業だから『前線精神』『おもてなし精神』『笑顔でサービスを提供する』『一人一人が自覚して企業を立て直す』などしなればならない」ともがんに企業教育を行なっており、抵抗しないでどんな作業にも対応できる従業員づくりを目指し、思想攻撃、切磋琢磨による一人一人が自覚して企業を立て直すようにならなければなりません。

分離後、新産都市計画にもよりいた合理化をすめられたため、職場では労働強化を強いながら、口に

いた合理化をすめられたため、職場では労働強化を強いながら、口に

は企業のためにがんばってくれて一方的に労働者にしわ寄せをして

いる。労働者は人間以下の条件で労働させられてしまう三井のやり口をわれわれは許せない。

三川大爆発から1年半も経過し、会の發展の過程と、内部矛盾の表

く生活の出来、われ、労働者階級の發展と職場、個々の職場の勝利

会の發展してきたことが明らかに

ではなく、労働者が本調査で人間らしい

が本調査で人間らしい

が本調査で人間らしい